レポート！ 広がり進化するSDGs・環境教育

日本の先端を行く教育が、京都から始まり、広がっています！

京北小中学校4年生のごみの授業

京都市立京北小中学校では毎年、4年生が「京北ふるさと未来科」の30時間ほどを使って、「ごみ」について学んでいます。

毎週、「ごみの専門家」が授業にやってきます。「ごみってなんだろう」ということを多角的に考えた後、紙ごみ、生ごみ、プラごみ、洋服のごみ、スマホやゲーム機など電子機器のごみ…と様々なごみについて学び、考え、話し合います。ワークショップ形式の授業で、毎回たくさんのアイデアが子ども達から飛び出してきます。

ごみから資源へ。循環へ。

当初、ごみのことを学んでいたと思っていた子どもたちは、しばらくすると、毎回「資源」について考えていることが分かります。物を捨てた後のことだけではなくて、その物がどこからやってきたのか、どんな資源なのか、どんな国の人が関わっているのか、誰かを傷付けてはいないか。「循環」するかどうかも大切になってきます。SDGsという言葉を使わなくても、知ること、気付くことが全てがSDGsにつながっています。もちろん地球温暖化問題にもつながっています。

おうちの人に伝えたいことがたくさんある

毎回の授業の最後には「ふりかえり」の時間があります。印象に残っていることをお互いに共有することで、更に学びが深くなっています。また、テーマが「ごみ」だけに、家庭での日常生活に活かせることがたくさんあります。自分だけの実践ではなく、おうちの人に学んだことを伝え、周りをどんどん巻き込む姿がすばらしいです。

授業の後半では、自分が一番気になるごみについて、発信のために壁新聞作りに取りかかります。

安朱小学校×無印良品 サステナブルな消費者になる！授業

京都市立安朱小学校5年生の「総合的な学習の時間」では、例年SDGsに関する内容を扱っています。今年度は「サステナブルな消費者になる！」をテーマにして、「買う」「使う」「捨てる」ときの行動について学ぶ授業を実施しました。より具体的な行動を学ぶために、無印良品京都山科店と協働して、どのような商品を選べばサステナブルなのか考えました。

どんな商品がサステナブル？

無印良品のいろいろな商品を小学校に持ってきて、実際に触りながら考えました。どんな素材でできているのか、商品そのものや包装にされている工夫はあるか、リサイクルされるのか、商品タグもじっくりと観察しました。

無印良品でトレジャーハント

サステナブルな商品を無印良品のお店の中で探すワークショップを行いました。雑貨、衣類、食品まで様々な商品が並ぶ中を、探検しながら探しました。循環のための回収ステーションも見つけました。

見つけた商品をポスターで発表

自分が見つけたサステナブルな商品の良いところをポスターにまとめました。どのSDGsに関係しているかもまとめ、クラス内で発表も行いました。作ったポスターは無印良品京都山科店でも展示されます。

岩倉南小学校6年生の皆さんが、環境・SDGsの研究提案を！

総合地球環境学研究所（通称「地球研」）は、学校との連携プログラムの開発に取り組んでいます。2024年10月18日には、京都市立岩倉南小学校を訪ね、「地球研めがねワークショップ」と称して、研究者やスタッフと対話しながら環境・SDGsに関する研究提案を行うというワークショップを実施。短時間にも関わらず、個性的な研究提案がたくさん生まれました！地球研オープンハウスで全て展示され、多くの方が関心しながら見学しておられました。

まずは！地球研クイズ！

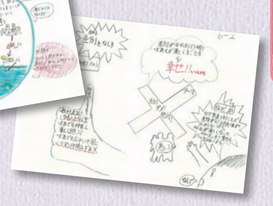
「本郷先生たちの研究って、なぁんだ？」

地球研の本郷先生の研究にまつわる一枚の写真。そこから研究内容を連想する、とっても難しいクイズもありましたが、たくさん手があがって、なかなかいとこまでいきました。

SDGsって？

「みんなの出番！SDGsについて考えてること教えて！」

SDGsについても勉強済みのみなさん。1分間のシンキングタイムで、気になっているSDGsを書き出してもらいました。それぞれに、考えて、教えてくれて、感謝感激。



いよいよ研究提案

「地球環境問題の解決には、いろんな人のいろんな知恵や声、協力が必要です。地球研に、みなさんのアイデアと愛をわけてください！」

研究提案書も、個性的でいいのです。思うままに、書く！話す！描く！かく～

他の学校での展開が可能なものもありますので、関心があれば、新聞の問い合わせ先までご連絡ください。

※プラス・スクール、安朱小、京北小中学校のプログラムは、内閣府総合科学技術・イノベーション会議の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「サーキュラーエコノミーシステムの構築」（研究推進法人：独立行政法人環境再生保全機構）（JPJ012290）により実施しています。

里山の廃校で「シェフ」や「いきものの達人」をめざそう！

エコクッキングで世界グルメを制覇！ 京都「エコ・シェフ」未来の料理人募集！

エコな食材を使い、生ごみや食品ロスを減らし、地球にやさしいクッキングをする「エコ・シェフ」に挑戦してみませんか？料理で世界各国を旅します。

京北には、生ごみを燃やさず活用するバイオバス化プラントがあり、液肥（液体の肥料）ができます。その液肥を使って、化学肥料や農薬を減らした野菜作りを始めています！ 液肥もおわけしています。

異国の料理を、楽しく作りながら、食べ物と未来とわたしたちについて一緒に考えましょう。料理が初めてでも大丈夫ですよ！

実施日&メニュー（予定）

5月24日（土）	韓国料理
7月6日（日）	イタリアン料理
8月23日（土）	韓国料理
9月23日（火・祝）	ブラジル料理
11月23日（日）	韓国料理

●時間／10時30分～13時
●場所／京都里山SDGsラボ「ことす」キッチンラボ
●対象／小学3年生～大人
　＊小学生のかたは保護者の同伴を必須とします。
　中学生からは一人または友達と参加できます。
　大人の参加も大歓迎！
●参加費用（材料費込）／1名:1,000円
●参加申込／https://forms.gle/s9enwPC3NREQrsWb8

こんにちは！韓国で国家資格を取得した環境教育インストラクターで、京大修士卒、日本で楽しく活動しているムンジュです！
みんなと一緒に"地球にやさしい食べ物の秘密"を探しにいきましょう！

京北いきもの調べ隊、2025年も調査隊員募集！

いきものを探して・見つけて・五感で体験し・時には食べて、フィールドの楽しさや日本のいきものたちの魅力をたくさん感じよう！

日時&参加費

①7月26日（土）　いきもの調査隊　～アメリカザリガニ大調査～
　9:30～14:30　5,000円

②8月23日（土）　いきもの調査隊　～川でガサガサ①～
　9:30～14:30　5,000円

③9月23日（火・祝）　いきもの調査隊　～川でガサガサ②～
　9:30～14:30　5,000円

④12月13日（土）　いきもの×食　～ジビエ回～
　10:00～14:30頃　小学生4,000円 大人7,000円

※当日の状況等により解散時刻が前後する場合があります。
※①～③のプログラムは、小学生一人につき、保護者一人まで同一の参加費とします（※保険登録料の500円のみいただきます）
例）7月のプログラムの場合　小学生1名+保護者1名　5,000円+500円
　小学生2名+保護者1名　5,000円×2名+500円
　小学生2名+保護者2名　5,000円×2名+500円×2名

●集合場所／京都里山SDGsラボ「ことす」
●主催／いきもの倶楽部KONOMI（https://ikimonoclub.com/）
●抽選申込締め切り日／5月9日（金）　お申込み後抽選となります。
※抽選申込締め切り日段階で定員に達していない場合は、お申込みいただいている方から順に確定とします。抽選結果発表後、定員に空きのあるプログラムにお申込みいただくことや、キャンセル待ちとしてすでに定員に達したプログラムにお申込みいただくことも可能です。
●抽選申込／https://x.gd/42KV8

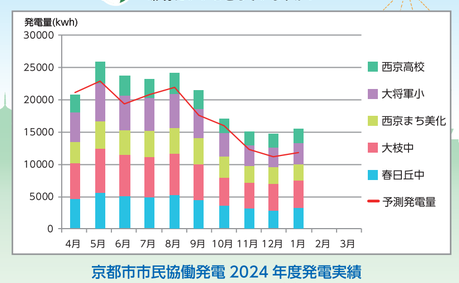
special sponsorship
ESN　KYOCERA　エコの森京都　ANKYO　京都銀行　楽天信託株式会社　Switch.tiff

supported by
京都超SDGsコンソーシアム
京都大学 KYOTO UNIVERSITY　Research Institute for Humanity and Nature 総合地球環境学研究所　京都市 CITY OF KYOTO　京都府　RICOH　YASUDA SANGYO GROUP　Rethink PROJECT　SoftBank　ECOMMIT　三洋化成 Sanyo Chemical　セブン&アイ HLDGS.　エフピコ　Daiwa Lease　mizkan　ZOJIRUSHI　THE ADECCO GROUP　TOKAI GROUP　WACOAL HOLDINGS CORP.　モノファクトリー　NATO Powered On Site　エコ～るど京大　（順不同）

びっくり！エコ新聞事務局
mezase530@gmail.com

びっくりエコ発電所活動レポート

DO YOU KYOTO? 環境にいいことしていますか？



京都市市民協働発電 2024 年度発電実績

京都市市民協働発電の取組ですが、当団体は５ヶ所の施設で設置しております。2024年4月から2025年1月までで予測発電量に達しなかったのは4月だけでした。また、4月から2月までの予測発電量に対しては115.4％で、例年に比べて好調に推移しています。
引き続き、施設の発電状況をモニタリングし、事業の安定的な運用をしてまいります。